

ふ系226号 (相875)

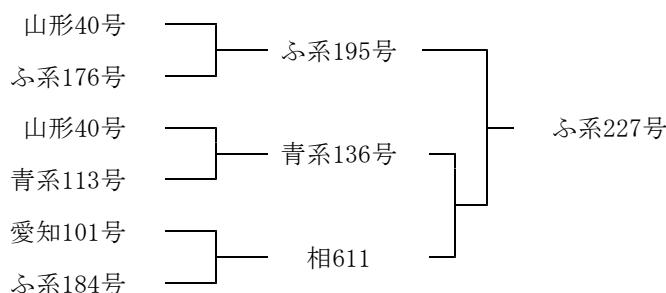
交 配 番 号 藤交02-冬2

交 配 組 合 せ ふ系195号／／青系136号／相611

系統(集団)番号 03BF-21・040N-29・05Si-15・06L1791・07L3404(PM107)・08L4413(M43)

I 来 歴

「ふ系226号」は、2002年夏期に青森県農業試験場藤坂支場（現青森県農林総合研究センター藤坂稲作研究部）において「青系136号」を母、「相611」を父として人工交配を行い、同年冬期に「ふ系195号」を母、「青系136号/相611」のF₁を父として交配を行った。2003年にF₁及びF₂を温室で世代促進栽培し、2004年にF₃及びF₄を沖縄県農業試験場名護支場（現沖縄県農業研究センター名護支所）で世代促進栽培した。2005年にF₅を一般圃場で個体選抜した。2006年F₆以降は系統栽培によって選抜と固定を図ってきた。2007年にF₇を生産力検定予備試験並びに特性検定試験に供試し、2008年にF₈で「相875」として生産力検定本試験並びに系統適応性検定試験、特性検定試験に供試した結果、有望と認められたので「ふ系226号」の地方番号を付し、2009年から関係各県に配付して地方適否を検討する。2009年度で雑種第9代である。



ふ系226号の系譜図

II 特性の概要

「ふ系226号」は、出穂期、成熟期が「まっしぐら」よりやや早い“中生の早”に属する。稈長、穂長は「まっしぐら」より長く、穂数は「まっしぐら」並の“中短稈”，“偏穂重型”の稈種である。苗丈は「まっしぐら」並、苗の葉色は「まっしぐら」並である。最高分げつ期頃の草丈は「まっしぐら」よりやや長く、茎数は「まっしぐら」並で、葉色は「まっしぐら」よりやや濃い。穂揃期の草姿は、止葉が直立し良好である。稈の細太は“やや太”，剛柔は“剛”で、倒伏抵抗性は「まっしぐら」並の“強”である。粒着密度は「まっしぐら」より密粒の“密”で、芒性は“極短”の芒を“極少”程度生じ、ふ先色は“白”である。収量性は「まっしぐら」並かやや多収である。玄米は、形状が“中”，大小は“やや小”で、千粒重は「まっしぐら」並みである。玄米品質は「まっしぐら」並の“上下”である。食味は「まっしぐら」並の“上中”である。いもち病抵抗性は、真性抵抗性遺伝子型が*Pia*, *Pii*, *Pik*と推定され、ほ場抵抗性は葉いもちが“やや強”，穂いもちは穂いもち抵抗性遺伝子*Pb1*を持つと推定され“極強”である。障害型耐冷性は「まっしぐら」より強い“極強”である。穂発芽性は“やや難”である。

III 試験成績

1. 特性調査成績

系 統 名 及 び 品 種 名	稈		芒		ふ先色	粒着 疎密	脱粒 難易	玄 米	
	細太	剛柔	多少	長短				形状	大小
ふ系226号	やや太	剛	極少	極短	白	密	難	中	やや小
まっしぐら	太	剛	極少	極短	白	やや密	難	中	やや小
ゆめあかり	やや太	剛	極少	極短	白	やや密	難	中	やや小

2. 耕種概要

試験年度	試験区	播種 月日	移植 月日	本田施肥量 (kg/a)						一区 面積 (㎡)	栽植密度			1株 栽植 本数	反復 回数
				基肥量			追肥量				条間 (cm)	株間 (cm)	㎡当た り株数		
				N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O						
2007	標肥区	4.10	5.18	0.6	0.6	0.6	0.2	—	—	4	24	15	27.8	3～4	1
2008	標肥区	4.10	5.15	0.8	0.8	0.8	0.2	—	—	5	24	15	27.8	3～4	2
	多肥区	4.10	5.15	1.0	1.0	1.0	0.2	—	—	5	24	15	27.8	3～4	2

注. 中苗散播ハウス畑苗代（箱育苗）である。

3. 生育調査成績

系 統 名 及 び 品 種 名	試験 年度	標 肥 区						多 肥 区					
		出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	倒伏 ²⁾	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	倒伏 ²⁾
		(月.日)	(月.日)	(cm)	(cm)	(本/㎡)	程度	(月.日)	(月.日)	(cm)	(cm)	(本/㎡)	程度
ふ系226号	2007	8. 5	9.13	74	18.7	400	0.0	—	—	—	—	—	—
	2008	8. 7	9.28	74	18.6	393	0.0	8. 8	9.30	80	17.9	425	0.0
	平均	8. 6	9.21	74	18.7	397	0.0	—	—	—	—	—	—
(標) まっしぐら	2007	8. 4	9.13	66	17.8	394	0.0	—	—	—	—	—	—
	2008	8. 8	10. 1	71	17.8	420	0.0	8. 9	10. 2	74	17.8	410	0.3
	平均	8. 6	9.22	69	17.8	407	0.0	—	—	—	—	—	—
(比) つがるロマン	2007	8. 4	9.12	70	17.6	439	0.0	—	—	—	—	—	—
	2008	8. 8	9.27	79	18.1	439	0.0	8. 8	9.30	81	18.4	433	1.5
	平均	8. 6	9.20	75	17.9	439	0.0	—	—	—	—	—	—
(比) ゆめあかり	2007	8. 3	9.10	66	18.0	422	0.0	—	—	—	—	—	—
	2008	8. 6	9.27	73	18.4	421	0.0	8. 6	9.28	77	18.2	470	0.8
	平均	8. 5	9.19	70	18.2	422	0.0	—	—	—	—	—	—

注. ²⁾ 倒伏程度は、0（無）～5（甚）で表示した。

4. 収量調査成績

系 統 名 及 び 品 種 名	試験 年度	標 肥 区						多 肥 区					
		全 重	玄米重	同左 標準 比 (%)	屑米 重 (kg/a)	玄米 千粒重 (g)	不稔 歩合 (%)	全 重	玄米重	同左 標準 比 (%)	屑米 重 (kg/a)	玄米 千粒重 (g)	不稔 歩合 (%)
		(kg/a)	(kg/a)					(kg/a)	(kg/a)				
ふ系226号	2007	172.2	58.5	113	3.2	21.9	19.5	—	—	—	—	—	—
	2008	160.9	63.5	102	4.0	24.2	—	184.5	74.1	110	6.3	24.1	—
	平均	166.6	61.0	107	3.6	23.1	—	—	—	—	—	—	—
(標) まっしぐら	2007	155.4	51.7	(100)	3.0	21.3	25.8	—	—	—	—	—	—
	2008	162.3	62.6	(100)	4.4	24.1	—	170.4	67.4	(100)	4.6	24.3	—
	平均	158.9	57.2	(100)	3.7	22.7	—	—	—	—	—	—	—
(比) つがるロマン	2007	149.1	48.9	95	4.2	21.2	18.7	—	—	—	—	—	—
	2008	160.8	65.5	105	4.5	23.4	—	171.4	70.7	105	4.9	23.4	—
	平均	155.0	57.2	100	4.4	22.3	—	—	—	—	—	—	—
(比) ゆめあかり	2007	149.2	40.2	78	5.7	20.2	35.5	—	—	—	—	—	—
	2008	152.8	63.7	102	5.3	23.1	—	164.9	67.3	100	6.1	23.0	—
	平均	151.0	52.0	91	5.5	21.7	—	—	—	—	—	—	—

5. 品質調査成績

系 統 名 及 び 品 種 名	試験 年度	標肥区		多肥区	
		玄米 品質	検査 等級	玄米 品質	検査 等級
ふ系226号	2007	4.5	3下	—	—
	2008	4.8	2上	5.3	2上2中
	平均	4.7	2下3上	—	—
(標) まっしぐら	2007	4.8	3中下	—	—
	2008	5.2	2中	5.0	2中2下
	平均	5.0	3上中	—	—
(比) つがるロマン	2007	4.0	3中	—	—
	2008	4.3	2上	4.3	1下2上
	平均	4.2	2中下	—	—
(比) ゆめあかり	2007	5.5	3下外	—	—
	2008	5.3	2上	5.2	2上
	平均	5.4	3上	—	—

6. 系統適応性検定試験成績

試験地	試験年度	系統名及び品種名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	全重 (kg/a)	玄米重 (kg/a)	同左標準比 (%)	玄米千粒重 (g)	倒伏	障害 不稔
青森	2008	ふ系226号	8. 5	9. 24	76	18. 9	349	156. 5	62. 2	103	24. 5	4. 8	0. 0 -
		つがるロマン	8. 7	9. 23	78	18. 4	374	153. 6	60. 1	(100)	24. 2	3. 5	0. 0 -
黒石		まっしぐら	8. 6	9. 23	73	18. 3	400	158. 2	62. 1	103	24. 3	4. 9	0. 0 -
宮城	2008	ふ系226号	8. 3	9. 16	78	18. 4	366	128	53. 1	97	23. 1	4. 0	0. 0 -
古川		ヤマウタ	8. 2	9. 13	75	17. 6	402	123	54. 5	(100)	21. 8	6. 0	0. 0 -
福島	2008	ふ系226号	7. 26	9. 7	74	17. 9	361	-	50. 8	89	23. 8	5. 5	0. 0 -
		ひとめぼれ	8. 7	8. 24	76	16. 9	526	-	56. 8	(100)	23. 6	6. 0	1. 0 -
本場		まいひめ	7. 28	9. 9	71	16. 1	389	-	49. 3	87	22. 6	8. 0	0. 0 -

試験地	年度	有望度	概 評
青 森	2008	△	
宮城古川	2008	×	短稈穂重型、やや大粒、登熟遅い、玄米品質やや不良（乳白）
福島本場	2008	×	乳白、基部未熟粒多い

7. 特性検定試験成績

1) いもち病抵抗性

(1) 葉いもち抵抗性

系 統 名 及 び 品 種 名	推定 遺伝 子型	2007年		2008年				総合 判定
		育成地 ¹⁾		育成地 ¹⁾		愛知・山間		
		発病 ²⁾ 程度	判定 ²⁾	発病 ²⁾ 程度	判定 ²⁾	発病 ²⁾ 程度	判定 ²⁾	
ふ系226号	<i>Pia, i, k</i>	4. 8	m	2. 9	mr	5. 3	rr	mr
ヒメノモチ	<i>Pik</i>	3. 1	(r)	2. 3	(r)	7. 3	(r)	r
サカキモチ	<i>Pik</i>	3. 2	r	2. 8	mr	6. 1	rr	r
ふ系69号	<i>Pik</i>	6. 6	(s)	5. 4	(s)	10. 0	(s)	s
東北IL3号	<i>Pik</i>	5. 3	m	2. 9	mr	－	－	mr-m
ふ系IL9号	<i>Pia, k</i>	3. 9	mr	3. 5	m	－	－	mr-m
ムツニシキ	<i>Pia, k</i>	6. 3	s	2. 9	mr	－	－	m-ms

注. ¹⁾ レース137. 3菌を使用したビニールハウス内隔離試験の結果を示す。

²⁾ 発病程度は葉いもち抵抗性調査基準による0～10の11段階。

²⁾ rは“強”，mrは“やや強”，mは“中”，msは“やや弱”，sは“弱”を示す。

()は，判定基準を示す。

2) 穂いもち抵抗性

系統名 及び 品種名	推定遺伝子型		2007年			2008年 ¹⁾			総合 ²⁾ 判 定
	真性抵抗性 遺伝子型	ほ場抵抗性 遺伝子型	出穂 期	発病 ²⁾ 程度	判定 ²⁾	出穂 期	発病 ²⁾ 程度	判定 ²⁾	
ふ系226号	<i>Pia, i, k</i>	<i>Pb1</i>	8. 8	0. 0	-	8. 9	2. 3	rr	rr
ヒメノモチ	<i>Pik</i>	-	8. 10	0. 0	-	8. 16	6. 4	(r)	r
サカキモチ	<i>Pik</i>	-	8. 8	0. 8	-	8. 17	6. 2	rr	rr
ふ系69号	<i>Pik</i>	-	8. 8	0. 4	-	8. 16	9. 2	(s)	s
ふ系IL9号	<i>Pia, k</i>	-	8. 7	0. 0	-	8. 13	3. 6	rr	rr
ムツニシキ	<i>Pia, k</i>	-	8. 7	0. 0	-	8. 15	4. 9	rr	rr

注. ¹⁾ レース137. 3菌を使用したビニールハウス内隔離試験の結果を示す。

²⁾ 発病程度は穂いもち抵抗性調査基準による0～10の11段階。

²⁾ rrは“極強”，rは“強”，mrは“やや強”，mは“中”，msは“やや弱”，sは“弱”を示す。

()は，判定基準を示す。

2) 障害型耐冷性

系 統 名 及 び 品 種 名	2007年 ¹⁾						2008年 ¹⁾			平均 不稔 歩合 (%)	総合 判定
	19.3℃ ²⁾			19.1℃ ²⁾			18.9℃ ²⁾				
	出穂期 (月.日)	不稔 歩合 (%)	判定 ²⁾	出穂期 (月.日)	不稔 歩合 (%)	判定 ²⁾	出穂期 (月.日)	不稔 歩合 (%)	判定 ²⁾		
ふ系226号	8. 6	17.3	rr	8. 7	37.2	rr	8.17	81.8	r	45.4	rr
ゆめあかり	8. 2	37.6	mr	8. 4	61.1	mr	8.14	88.6	r	62.4	mr
むつほまれ	8. 3	65.3	(m)	-	-	-	8.14	98.1	<mr	-	-
まっしぐら	8. 4	32.4	r	8. 6	57.2	mr	8.17	93.0	<mr	60.9	mr
つがるロマン	8. 4	50.5	mr	8. 5	61.7	(mr)	8.16	92.6	<mr	68.3	mr
中母42	8. 2	16.5	rr	8. 4	37.7	(rr)	8.16	66.2	rr	40.1	rr
中母35	8. 3	18.3	(rr)	8. 3	52.4	r	8.15	67.2	(rr)	46.0	rr
ムツニシキ	8. 5	36.9	mr	8. 7	52.9	r	8.16	95.6	(mr)	61.8	mr

注. ¹⁾ 恒温深水法。

²⁾ 処理期間の平均水温を示す。

²⁾ rrは“極強”，rは“強”，mrは“やや強”，<mrは“やや強”以下，mは“中”を示す。
()は，判定基準を示す。

3) 穂発芽性

系 統 名 及 び 品 種 名	2007年		2008年		平均 発芽 指数	総合 判定
	発芽 ¹⁾ 指数	判定 ²⁾	発芽 ¹⁾ 指数	判定 ²⁾		
ふ系226号	3.0	mr	4.3	mr	3.7	mr
むつほまれ	4.3	m	7.1	m	5.7	m
ゆめあかり	3.9	(mr)	4.6	(mr)	4.3	(mr)
まっしぐら	2.3	(r)	2.2	(r)	2.3	(r)
つがるロマン	2.3	r	2.8	r	2.6	r

注. ¹⁾ 発芽率を達観で調査し，1（10%以下）～10（90～100%）の指数で表示した。

²⁾ rは“難”，mrは“やや難”，mは“中”を示す。()は，判定基準を示す。

4) 食味¹⁾

生産年	系 統 名	総合							パネル	実 施
及び	及 び		外観	香り	味	粘り	硬さ	基準品種名	人数	年月日
生産地	品 種 名	評価								
2007	ふ系226号	0.231	0.308*	0.000	0.077	0.077	-0.308*	まっしぐら	13名	2008. 1. 21
藤坂										
2008	ふ系226号	0.273	0.000	0.000	0.091	0.182	-0.364*	まっしぐら	11名	2008.12. 15
藤坂										
2008	ふ系226号	0.083	0.167	0.000	0.083	0.083	0.000	まっしぐら	12名	2008.12. 26
黒石	つがるロマン	-0.083	0.083	0.000	0.000	-0.167	0.083			

注. ²⁾ 評価基準：-3（極めて悪い・粘らない・軟らかい）～0（同じ）～+3（極めて良い・粘る・硬い）

*, **, ***はt検定の結果，基準品種との差がそれぞれ5%，1%，0.1%水準で有意であることを示す。

5) 白米のタンパク質含有率¹⁾(%)

系 統 名 及び品種名	2007年 ²⁾	2008年	平均
ふ系226号	7.9 (19.5)	6.9	7.4
まっしぐら	7.5 (25.8)	7.0	7.3
ゆめあかり	8.4 (35.5)	6.9	7.7
つがるロマン	8.0 (18.7)	6.9	7.5

注. ¹⁾ タンパク質含有率はインフラライザー450を用いて測定した。

²⁾ 不稔多発下の値である。()内の数値は不稔歩合(%)を示す。

6) 白米のアミロース含有率¹⁾(%)

系 統 名 及び品種名	2007年 ²⁾	2008年	平均
ふ系226号	18.5	20.4	19.5
まっしぐら	17.0	20.4	18.7
ゆめあかり	14.9	20.3	17.6
つがるロマン	18.3	20.4	19.2

注. ¹⁾アミロース含有率はオートアナライザーⅡを用いて測定した。

²⁾不稔多発下の値で、各不稔歩合については5)を参照。

7) 味度¹⁾

系 統 名 及び品種名	2007年 ²⁾	2008年	平均
ふ系226号	76.9	85.1	81.0
まっしぐら	71.4	82.1	76.8
ゆめあかり	66.7	78.1	72.4
つがるロマン	72.1	84.4	77.8

注. ¹⁾味度は、東洋精米機味度メーターを用いて測定した。

²⁾不稔多発下の値で、各不稔歩合については5)を参照。

Ⅳ 固 定 度 実用的形質については、ほぼ固定したと思われる。

Ⅴ 配付可能な種子量 約7.0kg

Ⅵ 配 付 予 定 地 寒冷地及びその他の山間冷涼地帯。